

お口の中の健康維持のためには？

犯罪防止に日夜務めておられる、警察関係の方。また日夜、火災予防に努めておられる消防関連の方々。もし犯罪件数が減り世の中が平和になったら素晴らしいことです。さらに火災が減り、世の中の財産が焼失しなくなればこれもまた素晴らしいことです。その際警察官の方、消防関係の方のお給料はどうなるのでしょうか？



歯科医師会からむし歯予防、歯周病予防のためにいろいろなメッセージを配信しておりますが、人々がまじめにブラッシングに取り組めば、公衆衛生的には、むし歯の減少、歯周病の減少となり素晴らしいことです。ただ個人開業医が多い歯科医院の各々にとっては、現時点での保険制度、つまり何か病気になってないと、健康保険での診療ができないし、個人事業主である個人歯科医師の生計に影響が出てくるのではないのでしょうか。

本来、病気は予防が大切なことは言うまでもありませんが、現在の保険制度では予防に重点が置かれておらず、お口の中のことに関心を持たれている方に保険外のご負担をいただき、予防のためのいろいろな検査をしているのが実情です。



幼少からの学校検診、並びに小児歯科の先生方のご尽力で、高校生までのむし歯の数は減少してきています。ただ歯周病については、慢性な症状のため、歯周病の患者さんの数は減少傾向とは言えません。ブラッシングの大事なことは、わかっちゃいるけど、という患者さんの意識が、現時点で過剰ともいわれる歯科医院を支えていただいているのかもしれませんが、ブラッシングは奥が深いです。世間一般の人々は歯を磨いている方が普通だと思いますが、必要なところをちゃんと磨けているかどうかは別問題です。ただお口の中はご自身で見ることができ、コツさえつかめれば、かなりきれいにお掃除可能などころです。



まだまだ歯科医院は行きたくないところ、痛くなるまで、我慢できなくなるまで放置される患者さんもおられると思いますが、時代は変わり、歯科医院の数も増えました。歯科医師会会員で研修を積まれておられる歯科医院も多くなりましたが、人間ですからそれぞれ個性もあり、波長が合わずご不満に思われる患者さんもおられるとは思いますが、波長の合うかかりつけ歯科医院を見つけられ、定期的にお口のなかの健康管理に努めれるのが、生涯、自分の歯でお食事を楽しまれる健康生活を維持できる秘訣です。また残念ながら歯を失いかけて部分入れ歯になった方もそれ以上歯を失わないように、定期的には歯科医院で点検しましょう。さらに不幸にして総義歯になってしまわれた方も、合わない入れ歯で満足にお食事できないとあきらめず、定期的に入れ歯の調整に歯科医院に出かけましょう。よく噛むということは唾液もよく出るようになりますし、ゆっくり飲み込む習慣は誤嚥性肺炎を予防することに関連します。さらにはよく噛む刺激は脳を活性化させるとの報告もあります。

歯科医院は定期的に訪れるところ、こうなれば、患者さんも歯科医もウィンウィンになれるでしょう。